

平成27年度 キャリア教育推進計画

○中学部 進路探索と暫定的進路選択の時期

- (A生活習慣 Bコミュニケーション C自己理解 D職業観 E将来設計 F生き方)
 A 基本的生活習慣の定着 B コミュニケーション能力の定着および発展
 C 肯定的自己理解と自己肯定感の形成 D 興味や関心に基づく職業観や勤労観の形成
 E 進路計画の立案および暫定的選択 F 生き方や進路に関する探索

目標	身につけさせたい能力・態度
A	①身のまわりのことを自分で行う ②生活スキル（炊事、洗濯、掃除等）を身につける ③時間や期限を守る ④集団生活の自分の役割を理解し、それを果たそうとする ⑤集団生活のルールを守る ⑥日常の生活や学校での学習と将来の自分の生き方の関係を理解する ⑦体調管理をする ⑧生活リズムを確立し、自分で管理する ⑨環境の変化（四季、気温、湿度、音、光、場所等）に慣れ、普段と同じように活動ができる ⑩集団の中で外部刺激（音、声、温度、光等）の弁別ができる ⑪適切な方法で安全に摂食できる ⑫ひとりでも楽しめる活動を見つけ、ひとりの時間を楽しく過ごせる ⑬活動に応じた体の使い方や楽な姿勢、リラクゼーションのしかたを理解し、実践できる
B	①快、不快を表現できる ②あいさつ、返事、同意不同意の意思表示をしっかりとできる ③お礼や謝罪の気持ちを素直に伝える ④自分の意見や気持ちをわかりやすく伝える ⑤新しい環境や人間関係に適応する ⑥場に応じた言葉遣いができる ⑦人間関係の大切さを理解し、基本的な対人スキルを身につける ⑧異年齢集団の活動に進んで参加し、他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする ⑨他者からの意見や意思を的確に把握するために、自分に合った方法を見つけ、それを活用しようとする ⑩自分に適したAAC（拡大・代替コミュニケーション）を見つけ活用する ⑪身近な人だけではなく、関わりの少ない人にも介助の依頼ができる ⑫身近な人だけではなく、関わりの少ない人からの介助も受け入れる ⑬身近な人だけではなく、関わりの少ない人からの呼びかけ等のはたらきかけにも反応する
C	①自分の悩みを相談できる人をつくる ②自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重できる ③自分の障がいを知り、その特性を理解する
D	①進路指導旬間等の体験活動を通して、勤労の意義やいろいろな職種で働く人たちの思いが分かる ②興味関心のある仕事について、その職に就くために必要な情報を収集する ③産業や経済の変化に伴う仕事や職業の変化のあらましを理解する
E	①進路指導旬間等の体験活動を通して、将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への意欲関心を高める ②進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指したい将来を暫定的に計画する ③将来の進路希望に基づいて短期目標を立て、その達成に向けて努力をする ④学校や保護者と相談しながら、卒業後の進路を選択し、それを受け入れる ⑤将来の生活に必要な知識（年金、ひとり暮らし、金銭管理等）について概要を理解する ⑥中学部卒業後の自分のあるべき姿をイメージできる
F	①学習や日常生活場面で、自己決定（YES/NO、好き/嫌い、したい/したくない等）ができる ②体験的な活動から自分の課題を見つけ、よりよい進路や生き方を目指して日々の学習に取り組む ③生き方や進路に関する情報を、いろいろな手段を用いて調査、収集、整理し活用する ④いろいろな職業の社会的役割や意義を理解し、自分の生き方を考える ⑤進路指導旬間等を通して、施設での体験活動を行い、雰囲気を知る ⑥自分の個性や興味関心に基づき、進路や生き方に関して自己決定しようとする ⑦選択や判断には、その過程や結果に責任が伴うことを理解する ⑧地域の人たちとのかかわりを深め、よりよい関係を築こうとする ⑨趣味を持ち、余暇を楽しむことができる